

北山朝徳さん（会員 故人アルゼンチン在住）のサッカー殿堂入り

渡部 千秋

本年9月に2022年度の日本サッカー協会のサッカー殿堂掲額者に元会員で2019年に72才で亡くなった北山朝徳さんが、選ばれました。

アルゼンチン在住の北山さんは、日本サッカー協会の国際委員として、その人脈を生かし、南米サッカー連盟やFIFAなど世界のサッカー界と日本サッカー界の関係強化に40年の長きにわたり尽力され、日本サッカーの強化や国際化に大きく貢献された。

特に日本代表の南米選手権への招待、アルゼンチン代表を始めとする数々の強豪チームの日本招聘、キリンカップ等国际マッチの実現など、北山氏の功績の一つである。

又、2002年のワールドカップ日本招致活動において、南米サッカー連盟が終始、日本を支持してくれた背景には北山氏と連盟の強い絆があった。

当協会の会員としても、アルゼンチンサッカーの生々しい貴重な情報や写真を、会報アルヘンティーナに何度か掲載いただき好評だった。

協会として、11月13日の日垂親善サッカー大会の当日に三菱養和会兼鴨サッカー場のクラブハウスのロビーに「北山さんコーナー」を設け、殿堂入りの写真、招致活動の写真、北山氏の掲載会報アルヘンティーナ（2005年5月号、2006年7月号等）を飾り、北山さんの功績を讃えた。

サッカー殿堂入り 北山 朝徳 KITAYAMA Tomonori 特別選考 2022年第18回日本サッカー殿堂



1947年4月15日 広島県豊島生まれ

日垂親善サッカー大会での「北山さん展示コーナー」

（わたなべ ちあき 当協会常務理事）